

令和7年度 学校評価シート

アンケート回答選択肢:よく当てはまる =4点、ほぼ当てはまる=3点、
あまり当てはまらない=1点、当てはまらない=0点
評価の点数について、素点平均 = 4~0の評価の平均値 (4点満点)
達成率 = 素点平均×100/4 (100%表示)

達成率	評価
80%以上 100%以下	A
60%以上 80%未満	B
40%以上 60%未満	C
20%以上 40%未満	D
0%以上 20%未満	E

I 職員による自己評価

領域	評価の観点	実践目標	達成	評価	成果・課題・改善策
学校運営	開かれた学校づくり	学校は、「学部・学年・学級通信」や「保健だより」、「みみだより」、「進路通信」、「寄宿舍だより」などを発行することで保護者・子どもたち・関係諸機関の方々などへの適切な情報発信ができています。	82	A	2. 育有会に加入をしていない家庭もあるので、育有会という視点ではなく、保護者との連携という視点で今後も教育活動の理解を促し、連携を図るよう努めたい。 3. 【情報図書】著作権や個人情報の管理を適切に行いながら、内容の更新やレイアウトの改善を進めた。また、古い資料や不要なコンテンツも整理した。今後も定期的に点検を行い、学校の取り組みを分かりやすく発信していきたい。 5. 【進路指導】卒業後が見据えられるように、中学部、高等部を対象に卒業生を招いた講演会を開催している。教員が企業等の話を聞く機会を作り、幼児児童生徒の進路学習に活かせるようにしていきたい。各学部の取り組みを共有できる場を今後設定していきたい。 7. 8. 【研究研修】研究授業、公開授業へ積極的に参観できるよう、掲示板等を活用して情報共有に努め、効果的なフィードバックができるように努めた。聴覚障害の専門的な知識を高め合っていくために、手話学習や専門性に関する研修の機会を設けた。また各学部が参加しやすいタイミングに全体研修を分散実施した。 9. 【情報図書】指導者用端末を導入したことにより、タブレット端末の活用が促進した。今後は、指導者用端末のアプリの活用方法や生成AIなどの活用について教職員に伝えていくことで、活用の幅を広げていく必要がある。 10. 【人権】人権教育に関する教職員研修を実施し、教職員が正しい知識をもち人権意識を高められるように取り組んだ。 12. 昨年度から計画をしていた、生徒向けの防犯教室を実施した。 13. 子どもたちの問題について、ケース会議を実施し、専門家からの助言をいただいたりするなどチーム支援を行う体制が整ってきている。 15. 個々のニーズに応じ、引き続き関係機関との連携を図っていく。 16. 定期的な連絡会議を通じ、建設的な意見を取り入れている。他学部のことを知るという視点ももてるように取り組んでいく。 17. 【生徒指導】学期に一度学校生活アンケートを行い、内容によっては担任や生徒指導部で聞き取りを行うなどしているほか、日頃から教職員に相談しやすいようにし、早期発見に努めている。 19. 【センター】本人のニーズを引き出し補聴器や人工内耳の調整をする。実態を正しく把握し、個に合わせたアドバイスにつなげるよう努める。 20. 各学部で教員同士が情報を共有するように心がけている。進路先の学部についての理解(教育課程や学習内容等)を教職員が深い、適切な進路指導が行えるようにする。 21. 【センター】個別的教育支援計画作成を通じ、その計画に基づいて合理的配慮の提供について評価し、必要に応じて見直しを行っている。
		学校は日頃から育友会との連携を図り、学校の教育活動の理解を促すよう努めている。	77	B	
		学校のホームページは適切で分かりやすく興味ある内容になっている。	72	B	
		学校は教育相談・通級・研修会の講師派遣等、地域のセンター的機能を果たしている。	83	A	
	進路指導 キャリア教育	学校は卒業後の社会参加や自立に必要な力を身につけるため、幼児から発達段階に応じた進路学習(自立に向けた学習)を行っている。	73	B	
		個別的教育支援計画は、担任と保護者の話し合いで子ども一人一人の目標に基づいてつくられている。	82	A	
	教職員の 資質向上	学校は研究授業や公開授業、研修会などを計画的に実施し、指導力の向上に努めている。	79	B	
		学校は聴覚障害の専門性について職員相互で高め合っている。	78	B	
		学校ではICT機器が充実し、授業や校務での活用の幅が広がっている。	78	B	
		学校では人権教育研修や人権啓発資料等を通じて、教職員の人権意識を高め、教職員自ら主体的に人権感覚を養っている。	79	B	
	危機管理 体制の整備	学校は子どもたちが安全に過ごせる環境をつくり、事故を防止するための適切な配慮を行っている。	81	A	
		学校は危機管理意識がある。(個人情報の管理、不審者対応など)	80	A	
		学校は子どもたちの問題に組織的に取り組める体制が確立している。	75	B	
		感染症等予防対策について、教職員間で共通理解し、状況に応じた最善の対策をしている。	82	A	
	関係諸機関との連携	学校は医療、福祉、教育、労働等の諸機関と連携する機会を持ち、子どもたちや保護者への支援に活かしている。	84	A	
	学部・学年運営	学校では保・幼・小・中・高の学部間や寄宿舍との連携、校務分掌部間の連携ができています。	68	B	
	校内支援	学校はいじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合に迅速かつ適切に対応している。	82	A	
		学校は子どもや保護者の学習や生活面の悩みに対して個人面談などを行い、適切な指導をしている。	81	A	
		学校は補聴器・人工内耳の装用、また言語発達や就学に関する相談に対して、個に応じて適切なアドバイスができています。	82	A	
		学校は子ども一人一人の進路(就学)において、情報を共有し組織的かつ適切な対応ができています。	75	B	
	合理的配慮	学校では子ども一人一人の障害や特性に対して、合理的配慮が提供できている。	78	B	

	22	校務処理	学校では勤務時間の適正化が図られている。	72	B	22.23.教育課程に沿った行事の精選や授業時数の適正化、教育活動の充実を図り取り組んできた、少しずつではあるが勤務の適性化、公務の合理化の改善につながっている。
	23		学校では校務の合理化が図られている。	73	B	
教育課程	24	個に応じた学習指導	学校は個別の指導計画を基に、子ども一人一人の障害に配慮した教育活動を行っている。	79	B	24~26 (保)発達や障害特性に応じて、保育目標、保護者支援の内容について検討し、チームで保育の質的向上に努めている。さらに、個に応じた取り組みを深める。 (幼)重複児に対して椅子、机など、本児に合った物を用意したり、保育内容を検討したり、合理的配慮を行っている。 (小)児童の様子について、小学部全職員、関係職員で情報交換し、その児童に応じた支援・指導方法を考えるよう努めている。 (中)生徒個々の障害特性や発達段階、学習に取り組む様子など職員間で共通理解を図りつつ、効果的な指導方法を考えながら学習指導を行っている。 (高)個々の生徒の状況について職員間での情報交換を密にし、指導実践に生かしている。
	25		学校は重複障害の子どもに対して、障害の特性に応じた適切な指導を行っている。	75	B	
	26		学校は子どもたちが主体的に学習に取り組める場面を設定し、学びを深めるような授業を行っている。	78	B	
	27	行事・教育活動	学校は子どもたちが主体となる行事や教育活動の充実に努めている。	80	A	
課題教育	28	防災・安全教育	学校はより具体的な災害状況を想定した実践的な防災訓練及び定期的な防災学習を行っている。	85	A	28.【総務】様々な災害を想定して、児童生徒が関心を持ち、自分にできることを考えられた。定期的な訓練を継続していく。 29.【生徒指導】交通安全教室と防犯教室を隔年で実施しており、今年度は垂水警察の方にお越しいただき防犯教室を実施した。交通安全については、担任や学部での教育活動を通じ、交通ルールの遵守や安全な行動を促した。 30.【人権】道徳、総合などの授業を中心に教育活動全般において各学部に応じた人権教育を実施している。また本年度は教職員向け人権研修として、講師を招聘し教職員の人権意識を醸成する取り組みを行った。 31.今年度は「食生活アンケート」(12月)を実施し、幼児児童生徒の食生活についての実態把握を行った。これらの結果を参考に、次年度の食育や食習慣の指導に生かしていきたい。
	29		学校は交通事故防止などの安全教育を行っている。	79	B	
	30	人権教育	学校は生命を大切にし、人権を尊重した教育を行っている。	83	A	
	31	食育	学校給食を通して食生活や食事のマナーなど望ましい食習慣の指導を行っている。	85	A	
平均値				79	B	

2 中学部・高等部の生徒による評価

	設 問	達成率	評価
1	予習・復習などの学習習慣が身についている。	50	C
2	宿題や課題をきちんとやって、期日までに提出している。	67	B
3	授業中は、先生の話をよく聞いている(見ている)。	84	A
4	授業の内容は、よく理解できる。	69	B
5	先生の話(手話)は、よくわかる。	83	A
6	中間考査や期末考査の前には、計画を立てて一生懸命勉強している。	49	C
7	学校や学部のきまりをきちんと守って、生活している。	88	A
8	携帯電話やスマートフォンは、ルールを守って使っている。	84	A
9	交通ルールや電車・バスの中でのマナーを守っている。	94	A
10	掃除の時間は、まじめに取り組んでいる。	85	A
11	学校の備品や施設を大切に使っている。	88	A
12	自分から積極的にあいさつをしている。	68	B
13	先生や先輩とは敬語を使って話している。	68	B
14	いじめの問題が起きないように、相手の気持ちを考えてみんなと仲良く行動している。	88	A
15	日番や週番など、当番の仕事を怠けずにきちんとやっている。	80	A
16	部活動に熱心に取り組んでいる。	84	A
17	文化祭や修学旅行、校外学習などの行事に、まわりと協力して取り組んでいる。	86	A
18	防災の学習や、講演会(SNS、性教育など)によって、自分の生活を見直したり考え方を変えたりしたことがある。	73	B
19	進路の講演会で卒業生のお話を聞き、自分の進路を考える上で参考になった。(中学部3年～高等部3年)	65	B
20	悩んだり困ったりした時に、相談できる友だちや先生がいる。	81	A
21	勉強のことや友だちのことについて家の人と話をする	62	B
22	授業や学校生活の中で、感染症等防止対策(マスク着用、消毒、換気等)がきちんとできている。	83	A
23	この学校に入学して良かったと思っている。	78	B
	平均値	76	B

3 保護者による評価

	設 問	達成率	評価
1	お子様は学校に楽しく通えている。	82	A
2	学校は学校・学部・学年の目標や方針がわかるように提示している。	85	A
3	学校は配付物やマチコミ、ホームページなどで適切に情報発信をしている。	85	A
4	授業・保育は楽しくよくわかるように工夫されている。	88	A
5	学校はお子様の成長の様子や課題などをわかりやすく伝えている。	88	A
6	学校は学んだことを家庭で取り組めるような指導ができている。	92	A
7	お子様は学校生活の様子を家庭でよく話題にする。	86	A
8	宿題はお子様にとって適切な量である。(小・中・高)	81	A
9	お子様は家庭で勉強している。(小・中・高)	49	C
10	学校は部活動などの課外活動に積極的に取り組んでいる。(小・中・高)	80	A
11	学校は挨拶やルールを守る指導をしている。	90	A
12	学校は本人や保護者の願いや思いをきちんと受け止めている。	85	A
13	学校は防災や不審者侵入などの安全対策を実施している。	84	A
14	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	84	A
15	お子様は学校行事を楽しみにしている。(または、「親子とも楽しめる保育や行事を企画・運営している。」)	87	A
16	学校は進路(進級を含む)に関する情報提供を適切に行っている。	87	A
17	学校は家庭・地域・医療との連携・協力が図れている。	85	A
18	学校は感染症等防止対策を適切に行い、安心安全な学校づくりに取り組んでいる。	82	A
19	お子様を本校に入学させて良かったと思う。	87	A
	平均値	84	A

4 学校評議員による評価

	設 問	達成率	評価	成果・課題・改善策
1	本校の教育は保護者や地域の期待に応えている。	66	B	<p>・先日、リブラブ兵庫でしたか、NHKの番組で山本剛志君とその友達がインタビューされているのを見ました。表情や話し方、その内容等が素晴らしかったです。ああいう仲間が同じ学校にいると思うと、生徒達は誇らしく思うでしょうし、励みになると思います。ああいう生徒を育てた先生方のご努力と技量に感心します。</p> <p>・地域とのつながりづくりに積極性を感じる。</p>
2	本校では、聴覚特別支援学校としての専門性が十分に発揮されている。	69	B	
3	本校は「生きる力」を育む教育の推進を行っている。	56	C	
4	本校では、幼児児童生徒の健康や安全に対する指導が適切に行われている。	69	B	
5	本校では、重複障害の幼児児童生徒に対して、障害の特性に応じた適切な指導が行われている。	63	B	
6	本校の学習環境は、教育活動を進める上で十分に整備されている。	59	C	
	平均値	64	B	